令和元年度第４回門真市廃棄物減量等推進審議会　議事録

会議の名称	令和元年度第４回門真市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和２年２月10日(月)　午後２時から２時40分まで
開催場所	門真市立リサイクルプラザ５階　マルチホール (門真市深田町19番５号)
出席者	【出席】（出席人数　13人/全13人中） 会長　浦邊　真郎　副会長　葭田　正子 委員　福岡　雅子　委員　内海　秀樹 委員　長谷川　忠秋　委員　西口　眞弓 委員　合田　征一郎　委員　有馬　直人 委員　相原　伸次　委員　辰巳　秀司 委員　三ツ川　浩一　委員　奥田　赳 委員　神来社　速紗美 【欠席】 【事務局】 市民生活部部長　水野　市民生活部次長　廣田 環境政策課課長　北倉　環境政策課課長補佐　上田 環境政策課課長補佐　松岡　環境政策課主査　樋口
議題 （内容）	１．議事 （１）門真市一般廃棄物処理基本計画（答申案）について （２）答申案 ２．その他
傍聴定員	10人（公開）
担当部署 （事務局）	(担当課名)　市民生活部　環境政策課 (電　話)　06－6909－4129(直通)

上田(事務局)	それでは、定刻となりましたので、ただいまより令和元年度第４回門真市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。本日、司会を務めさせていただきます門真市環境政策課の上田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。 本日は委員全員がご出席をいただいておりますので、会議が成立しておりますことをご報告させていただきます。 また、本審議会につきましては公開することと既に決定しております。議事録作成のため、録音をさせていただきますのであらかじめよろしくお願いいたします。 続きまして、お手元の資料の確認をさせていただきます。本日の次第、そして門真市一般廃棄物処理基本計画（案）、門真市一般廃棄物処理基本計画（案）の答申書の（案）でございます。以上３点お揃いでしょうか。 それでは、これ以降の進行につきまして会長にお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
浦邊会長	まず本日、お寒い中お集まりいただきましてありがとうございます。一応今日が最終ということで、とりまとめ等が含まれておりますので、議論していきたいと思います。 それでは進行させていただきます。 今日は議事次第にのっとって進行させていただきますが、まず１点目、一般廃棄物処理基本計画の案について、事務局からご説明をお願いいたします。
上田(事務局)	まず初めにパブリックコメントの結果についてご報告させていただきます。本計画の素案につきまして、令和元年12月23日から令和２年１月19日の期間、市ホームページに掲載をする他、環境政策課、市情報コーナー等、市内の各公共施設に意見箱とともに意見を募集いたしました。 残念ながらこの計画につきまして意見の提出はございませんでした。 次に、前回の審議会以降に事務局において修正した箇所につきましてご説明をさせていただきます。 冊子となっております門真市一般廃棄物処理基本計画（案）をご

	らんください。 前回会議でお示しをした資料からの変更点につきまして説明をさせていただきます。 まず全体的に文字の大きさを12ポイントに変更させていただいております。 １枚めくっていただいた挨拶のところは製本させていただく際に市長の挨拶文を掲載させていただく予定をしております。 １ページをごらんください。計画策定の趣旨のところにつきまして、今までずっと第６次総合計画の策定の年月のところを策定中としておりましたが、令和２年３月に、この計画とほぼ同時に策定が予定されておりますので、令和２年３月ということで記載を変えさせていただいております。 また、図１、SDGsの図につきまして、補足として説明を追加させていただいております。 少し飛びまして12ページをごらんください。ごみ処理等の体制でございますが、本市は本年４月に機構改革を実施する予定をしております。現在は市民生活部環境政策課でございますが、４月からは環境水道部という新たな組織でごみ処理の体制を組んでまいりますので、環境水道部として記載を改めさせていただいております。 続きまして13ページをごらんください。適正処理が困難なものへの対応としまして、感染性廃棄物の判断フローというものが環境省で示されておりますので、これを追記させていただいております。 続きまして、飛びますが44ページをごらんください。これが前計画の取組み状況でございましたが、今まで事業系の取組み、未実施が非常に多かったのですが、今年度、多量排出事業者に対しまして減量計画書の提出、また事業系ごみ減量の手引きにつきましても作成を行いましたので、未実施から実施したということで修正をかけさせていただいております。 続きまして57ページをごらんください。課題解決に向けた本市の方策のところで、昨年食品ロスの削減の推進に関する法律が施行されておりますので、この法律について記載をするとともに、門真市は守口市とともに、もりぐち・かどまプラスチックごみゼロ

	宣言を宣言させていただいております。後半の資料編の中にも宣言文を載せさせていただいておりますので、またごらんいただけたらと思います。 続きまして59ページをごらんください。費用の適正化に関する方策のところで、家庭系ごみの有料化や事業系ごみの処理手数料の見直しの検討という文言、またリサイクルの推進に魚あらに関する内容を記載させていただいております。また、安定的かつ効率的なごみ処理体制の構築のところにつきましては文章を全面的に変えさせていただいております。 次のページ、60ページをごらんください。前回の会議では一部事務組合を設置している表だけを載せておったのですが、単独で処理をしております市町村につきましても表としてまとめさせていただきまして、参考１、参考２という形で併記をさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。 続きまして60ページから62ページにかけて、前回の計画から継続、また強化する取り組みについてというのを新たに追記させていただいております。 続きまして、68ページから77ページの生活排水処理基本計画の部分になるのですが、こちらも大阪府の指摘に基づきまして全体的に文言の修正をかけさせていただいております。 また78ページからの災害廃棄物処理基本計画につきましても文言の整理をさせていただきまして、毎年時節に合わせまして見直しをする実施要領と、そして実行計画というものと区分をしまして記載を改めさせていただいております。 また89ページになりますが、仮置き場の計算式、これにつきまして発生確率が最も高い南海トラフ地震を想定しまして算定をし直し、この簡易推計式を改めさせていただいております。 そして今までの資料の中でありませんでしたけれども、巻末の資料としまして答申書等を記載させていただいておりますので、またごらんいただきたいと思います。 あと、お配りをする直前にわかりました差し替えが２点ございますので予めお示しさせていただきます。 79ページですが、基本方針２のところが１行切れてしまっておりますので、これはこちらのほうで差し替えをさせていただきま

	す。基本方針２の３行目が切れてしまっております。 また86ページ、87ページの図ですが、生活ごみ、避難所ごみの処理の流れとし尿処理の流れ図がテレコになってしまっておりますので、これもこちらで図の入れ替えを後ほどさせていただきます。 続きまして、門真市一般廃棄物処理基本計画（案）の答申書のご説明をさせていただきます。答申書（案）をごらんください。 本答申は、門真市廃棄物減量等推進審議会においてご審議をいただいた後、この門真市一般廃棄物処理基本計画（案）を適当と判断し、門真市長に答申をしていただくものとなります。なお、本計画の推進に当たっては、当審議会の審議過程で述べられた意見や要望に十分配慮されるとともに、計画に示される施策について着実に実行されることを要望するものと要望事項を記載させていただいております。 議事１、門真市一般廃棄物処理基本計画（案）の説明を以上とさせていただきます。
浦邊会長	ありがとうございました。今、事務局から説明がありました。今日、何かご意見、ご質問があればまずお願いしたいと思います。先ほどあったように市長答申を今日やるということなので、今日で決定したいと思います。市長さんが14時30分ぐらいにご到着ということですので、あと20分足らずしかありませんので、内容的には相当多いのですが、ご意見等ございませんでしょうか。
辰巳委員	いいですか。まず７ページ目のごみ処理基本計画の第２部の上から５行目、商店等事業活動に伴って排出される事業系ごみについては全て事業者責任による処理としておりという文言があるのですが、決してそうではないと。一般廃棄物において処理責任は最終的には市長、首長に帰属するような形になっているということを踏まえた上での記載なのかどうなのかという不安があります。 それと、13ページの表５の感染性廃棄物に関して、これはもちろん産廃ならば別の話になってくるのですが、表の読み取り具合によっては門真市さんが特管産廃の処理業者に委託するような見え方になってしまうので、そのあたり、これに関しては排出者が委

	託するといういざないにできないのかなという理解になります。読み方次第だと思うのですが。 それから45ページですが、表の中ほど、生ごみ等有機資源のリサイクルの促進について、これは実施したかどうかというような記載の仕方なので、これは実際にはしていないよねというのが私の中であるんですね。各事業所の取り組みとして食品リサイクルの実施というのは、これは行政がするのではなくて、あくまでも食品リサイクル法というのは法が多量排出者に対してかぶせる網、法体系ですから、それに対して門真市さんが何をしたかというような書き方のほうがいいのかなと思います。 そのすぐ下にごみ減量へのインセンティブが働く収集システムの検討の中で、事業系一般廃棄物処理手数料の改定とあるのですが、私も特段この処理料金の関係の審議会にも出席させていただいていたので、必ずしもこれが100％理由ではないというような理解になるんですね。理由のうちの１つでありますから、これを書き切ってしまうのはどうかと思ってしまいました。 私ばかりで申し訳ないのですが、51ページにも先ほど申したような同じような書きぶりがごみ処理についてあります。（３）のところですね。 （５）のごみ処理体制の在り方について、もちろんこれはこの計画というのは10年を目途に作っている中で、10年以内に検討しますという書き方になるのですが、どうも前回、前々回出席させていただいている中で、広域処理を目指していくような、そういう下書きになっているような気がして仕方がないんですね。もちろん後ほどのくだりにもあるのですが、南海トラフ地震ですとか、そういう大規模災害が起きたときに、私、大阪市の業者でもありますし、守口市の業者でもあるのですが、今、稼働している大阪市内の焼却炉の半数は南海トラフ地震で水没してしまう。要は上町台地まで津波が来るんですね。そんな中で、上町台地よりもはるかに山側にある門真市の炉を堅持しないのかなと。頼っていって、あっちに入ってしまおうというようないざない方に見えて仕方がないのかなと思います。このあたり、10年以内に考える話ですから、ここはこういう書き方になるのかなというところです。 あと気になりましたのは、58ページの下段、（３）のすぐ上の四

	角の枠囲いですが、これはごみの減量、発生抑制などですが、食品トレイの廃止と完全に書き切ってしまっている向きがあります。これはどうなんだろうと。衛生面においても食品トレイを廃止して、じゃあ何を代わりにするんだという代替え案が書かれていないので、ちょっと主婦の方々に対して厳しいかなと。あるいは事業所、スーパーですとか商店さんに対してこの書き方は厳しいのではないかと思います。 61ページにも先ほど申しましたごみ減量するためにごみ代を値上げしたらいいんじゃなかろうかという記載、これは違うのではないかと思います。ごみ減量の主要な施策としての、そのうちの１つとして書かれているだけなのですが、こういう書き方をされてしまうと事業所さんたちがまた値上がりするのかという懸念事項だけが出てくるのかなと思います。 80ページに記載されております表32の一番下段２つ、〇がついていないところですが、先ほど申しましたが、災害系廃棄物というのは一般的にまず一般廃棄物にカテゴリーされるものですから、あえてここで書く必要性があるのかどうかという理解なんですね。いろいろ考えていたのですが、例えば事業所が被災しないわけではないので、事業所も必ず被災します。そういった部分に関しては一般廃棄物で取り扱いできないのかなというのと、また傍らに、例えば原材料なんかが被災して水浸しになったとか、あるいはそれが地震、災害の関係で使えなくなってしまった、燃えてしまったとか、そういう場合には原材料ですから、言ってみたら災害系廃棄物にカウントするよりも産廃として処理してもらうのが妥当なのかなというような、そういう自分なりの納得をしたのですが、まず災害系廃棄物は最初に一般廃棄物に入るということを念頭に置いても、ちょっと冷たい書き方になってしまっているのかなと思います。とりわけ一番最後の産業廃棄物、廃掃法２条第４項に定める事業系活動に伴って生じた廃棄物とあるのですが、これを書いてしまうと公的機関も一応事業活動とカウントされますので、それも駄目なんですかと。要は言いたくはないですが、市役所が被災したとしますよね。そこで出てくる、事業活動ですから、それも産廃ですよという言い方になってしまうのかなと。それはいいです、でも商売されている方は別ですという縦分

	けにはならないと思いますので、それならばあえて書かないというやり方もあるのかなと思います。 その次のページ、81ページ、ここで被害想定に基づく廃棄物の発生では南海トラフを対象としていますという書きぶりですが、去年、一昨年とものすごい台風被害があって、門真、守口もそうですが、北河内でほぼほぼおうちの瓦が飛んで、ブルーシートだらけになったというのは記憶に新しいと思うんです。そういうものを包括してあげないと、これはちょっと厳しいのかなとは思います。 私からは以上です。ただ、10分もしないうちに市長がいらっしゃるので、これどうなんだと論議している暇はないと思うので。ただ、そういうご質問がこれをごらんになられた市民の方ですとか事業所の方がされたときにどう答えてあげるのかなというような受け答えを行政の方も持っていただく必要性があるのではなかろうかと思います。もちろん大規模災害においてはいつ起こるかわからないですし、また南海トラフ以外でも、この間の台風被害でもいろいろ形を変えてあると思いますから、それに対して発動しないよということではないと思いますけれども、計画の中で書かれていないことには対応できないというような形ではないという理解をしていますので、そのあたりだけの確認だけさせていただきたかったということです。以上です。
浦邊会長	ありがとうございます。今の10点余りあったのですが、最終的にはすべて対応できるかどうかあれですが、今日の答申はとりあえずこれで出させていただいて、事務局と会長で対応を考えさせていただくように。
辰巳委員	書きぶりだけのことですから、行政の方が今聞いたような聞き方をもし市民の方がされたときにどう受け答えされるかの話だと思いますから。そんなマニアックな質問をしてくる人はいないと思うのですが。
浦邊会長	災害廃棄物と事業系のごみというので、確かに今回の計画は特に減量については前からあるように異常に事業系ごみのほうは厳し

	く減量を求めている格好になっていまして、ご指摘いただいたように値上げ的なのがあるのではないかとか、これだけ本当にできるのかというのがあるのですが、目標としては北河内だけでなく、大阪府下の中で事業系ごみも家庭系ごみも平均レベルまで下げていこうという格好にはなっているのですが、その手段が有料化という名前も少し書いているのが今まであって、今後また改定するのかというようなイメージを持たれたりするので、ちょっと気になる方は多分おられるかと思いますが、少し書き方とか微修正で収まるようなら少しさせていただいて、ご意見を反映できるような格好で、何らかの格好でしていきたいと思います。 次に12ページですが、環境水道部になるということですが、図12の点線があるのは廃棄物というか、我々の今回対象になっているのは、ここの中の政策課と対策課が合わさって名前が変わるのですか。
上田(事務局)	そうです、環境政策課に。４月から。
浦邊会長	変わるんですね、部だけではなくて。グループは一緒ですか。
上田(事務局)	グループは１つ新たなグループができます。
浦邊会長	環境と水道が一緒になって、これから大変運営も難しくなると思う。環境は一般会計の中であくまで一般会計で、今まで全体的にあるけれど、やることは今までどおりというか、新たにものすごく膨大な業務が出てきたわけではないですよね。部長は大変だけど。 その他、何かご意見はよろしいですか。 それでは、今日の答申案が示されていますが、答申案について私が読んで市長にお渡しするのですか。
上田(事務局)	一旦、今ご意見がありましたものを事務局のほうで調整させていただきまして、委員長とご相談させていただいて、答申の修正の有無につきましても検討させていただいたらと思います。 この答申案につきましてはご承認いただけますでしょうか。よ

	ろしいでしょうか。 　そうしましたら、これから答申の準備に入らせていただきたいと思いますので、一旦休憩を挟ませていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
浦邊会長	一応私のほうから市長にこの案で、答申書と一緒にですか。
上田(事務局)	そうです。
福岡委員	案は取れるんですよね。答申ですから。
上田(事務局)	答申文だけで結構です。
浦邊会長	答申（案）のところの案を取るんですね。
上田(事務局)	はい。
浦邊会長	わかりました。
上田(事務局)	市長がお見えになっているようなので、どうしましょうか。一旦休憩を挟みましょうか。 　そうしましたらこのまま答申に移らせていただきたいと思います。 　それでは、ただいまより答申を行わせていただきます。答申書及び門真市一般廃棄物処理基本計画（案）につきまして、浦邊会長から宮本市長に答申をお願いいたします。
浦邊会長	門真市長殿。 　門真市一般廃棄物処理基本計画について答申申し上げます。 　平成31年３月18日付門真市環第789号をもって諮問されました門真市一般廃棄物処理基本計画の策定について、当審議会において慎重に審議を重ねた結果、当審議会の意見や指摘に対し修正も加えられた経過をふまえ、本案を適当と判断し、別添のとおり答申いたします。

	なお、本計画の推進にあたっては、当審議会の審議過程で述べられた意見や要望に十分配慮されるとともに、計画に示される施策について着実に実行されることを要望いたします。会長、浦邊真郎。
上田(事務局)	ありがとうございました。 それでは、市長からご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
宮本市長	皆様、お疲れさまでございます。ただいま答申を賜りました。一言お礼のご挨拶をさせていただきたいと思います。 門真市一般廃棄物処理基本計画の策定に当たりましては、昨年３月の諮問から本日までご丁寧に議論を進めていただきましたこと、まずもって感謝を申し上げたいと思います。 この過程の中でいただきましたさまざまなご意見につきましては、今後の市政運営に対しましてしっかり反映をさせていきたい、かように考えている次第です。 併せまして、もう十分ご案内いただいているとおり、環境に関わる課題というのはここ数年の中で大きく変わってきているのではないかと思っております。例えば地球温暖化の問題であったり、さまざまな分野に多岐にわたってもまいりますし、その一方で、市民生活にとっては日々出るごみの課題というのは毎日毎日の生活の中にある課題でもありまして、そういった面では家庭の環境だけに限らず、経済活動に応じてまたその状況というのは変わってまいっておる次第です。そういう面では非常に課題が多岐にわたるのですが、行政といたしましてはここの対応をどうしていくかという非常に根幹の部分でもありまして、今般いただきましたご意見に対しましてはしっかり丁寧に理解をしながら今後の市政運営を進めてまいりたいと思うと同時に、行政に限らず、家庭であったり、企業であったり、それぞれの役割というのを十分認識していただく中で、循環型社会、低炭素社会構築を目指すやさしいまち門真をしっかり実現してまいりたい、かように考えている次第です。 皆様のこれまでのご意見をしっかり感謝申し上げながら、私か

	らの御礼の言葉とさせていただきます。まことにお疲れさまでございました。ありがとうございました。
上田(事務局)	それでは、ここで市長は他の公務がございますので、退席されます。ありがとうございました。
宮本市長	どうもありがとうございました。お疲れさまでございました。
浦邊会長	それでは、今、市長に答申しました。最後に閉会に当たりましてご挨拶をさせていただきます。 皆様方におかれましては、非常に長期間、ほぼ１年にわたって熱心にご討議いただきまして多数のご意見をいただきました。まことにありがとうございました。 本計画は今後10年という門真の環境行政の指針となるものでございますので、答申案の内容とともに着実に市政運営を進めていただきたく祈念しております。 閉会のご挨拶とさせていただきます。 これをもって審議会を終了させていただきます。本当にありがとうございました。
上田(事務局)	ありがとうございました。 最後に事務局から１点だけ、本日の意見の修正等も踏まえましてこれから製本化させていただきます。また製本化に当たりまして表の大きさなどこれから微調整させていただきたいと思っておりまして、３月末までには製本をしたいと考えております。製本ができましたらまた皆様方のお手元にお届けしたいと思っておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。 事務局からは以上でございます。 本日はありがとうございました。